

# 大牟田市立甘木中学校

## 1 本校のESDの特徴

本校では、持続可能な開発のための教育に関する価値観（人間の尊重、多様性の尊重、非排他性等）や能力を育むために、福祉や文化、人権などの課題に対し、総合的な学習の時間や生徒会活動の取り組みを中心にして、横断的・総合的な学習を行っている。そのために、全学年で「地域の人との交流」を活動内容の大きなテーマとし、人と人、社会や自然とのつながりを理解し、関わりを深められるような学習を仕組んでいる。

また、体系的な思考力（問題や現象の理解、多面的・総合的なものの見方）やコミュニケーション能力を育むため、地域のひと、こと、ものと直接関わる体験活動を重視し、生徒自らが主体的に問題解決ができ、社会に参画する態度や能力につなげられるように学習活動（内容）を工夫している。

## 2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

	1 年	2 年	3 年
	テーマ：地域に学ぶ		
総合的な学習の時間 スマイルタイム	<環境教育> ～自然とのふれあい活動～ ○自然体験を通して、環境について考えると共に、集団行動による自己存在感を育成する。 <福祉教育> ～体験活動を通して、福祉についての現状を学ぶ～ ○体験を通して、介助の方法や自分にできることを考える。 ○施設体験を通して、働いている人の思いを理解し、福祉の重要性を考える。	<キャリア教育> ～職場体験～ ○地域の様々な職種について調べ、グループ毎に職場への体験活動を行う。 ○働く上で大切な心構え等についてまとめ、発表する。 <文化・環境教育> ～日本の伝統文化に学ぶ～ 〈修学旅行関連〉 ○大牟田の環境と産業・歴史及び文化との関わりについて再確認する。 ○京都の環境と産業・歴史及び文化との関わりについて調べる。 ○大牟田と京都の違いからそれぞれの地域の伝統・文化の良さについて発表する。	<キャリア教育> ～職業人に学ぶ～ ○様々な職種からGTを招き、働くことの意義と夢の実現に向けた進路について学ぶ。 ～高校訪問・進路学習～ ○高校を訪問し、授業体験やインタビューを行う。 ○「先輩に聞く」を進路の選択に生かし、模擬面接を通して自己を見つめ、進路決定について考える。
生徒会	<福祉・環境教育> ○評議員会を中心に、エコキャップ回収を実施する。		
部活動	<福祉教育> ○吹奏楽部の演奏会を通して、吉野病院との交流を図る。		

### 3 特徴的な活動事例

いろいろな話を聞くことで、「働く」とはどういうことかを学ぶ学習（1年生）	
目標	○職業調べを通して、地域で働く人々の仕事に対する姿勢や子どもたちに対する思いを感じ取り、そこから生じた関心や疑問を探究することで、職業に自分自身の特性、良さについて客観的にとらえ、働くことの意義や自己の生き方、職業人としての地域参画について考えさせる。
実践	①2年生から職場体験学習の体験談を聞き、職業について理解を深めた。 ②班で分担してインターネット、図書室、資料から職業に関する情報を収集してまとめ発表し合い、いろいろな職業について学んだ。
展開	③大牟田市で働いている方をG Tとして招き、職業に関する身近な話を聞いたり、質問したりすることでさらに職業についての考えを深めた。
生徒の感想	○仕事についてあまり考えたことはなかったけど、調べ学習やいろいろな人の話を聞いて、少しは職業について考えることができました。 ○僕は将来、自動車関係の仕事をしたいと思っていたけど、いろいろな資格をとる必要があることがわかりました。これからはもっと勉強を頑張りたいと思います。 ○友達と仕事について話すことができました。自分にどんな仕事合っているのかまだ分かりませんが、少しずつ自分の得意なことややりたいことを考えていきたいと思っています。

### 4 本年度の成果と課題



【2年生の発表】



【1年生の話し合い活動】



【1年生の発表】



【G Tによる講話】

#### ○成果

- ・生徒の感想に「職業について考えを深めることができた」という記述が多くあり、働くことについて考えさせることができた。
- ・2年生やG Tによる講話は生徒の職業に対する関心を高め、またグループ活動を多く取り入れることで他者の考えを共有することができ、自分自身の生き方について考えさせることができた。

#### ○課題

- ・生徒は職業について考えることはできたが、自分の将来に向けて、今何をすべきかということについては十分に考えさせることができなかった。